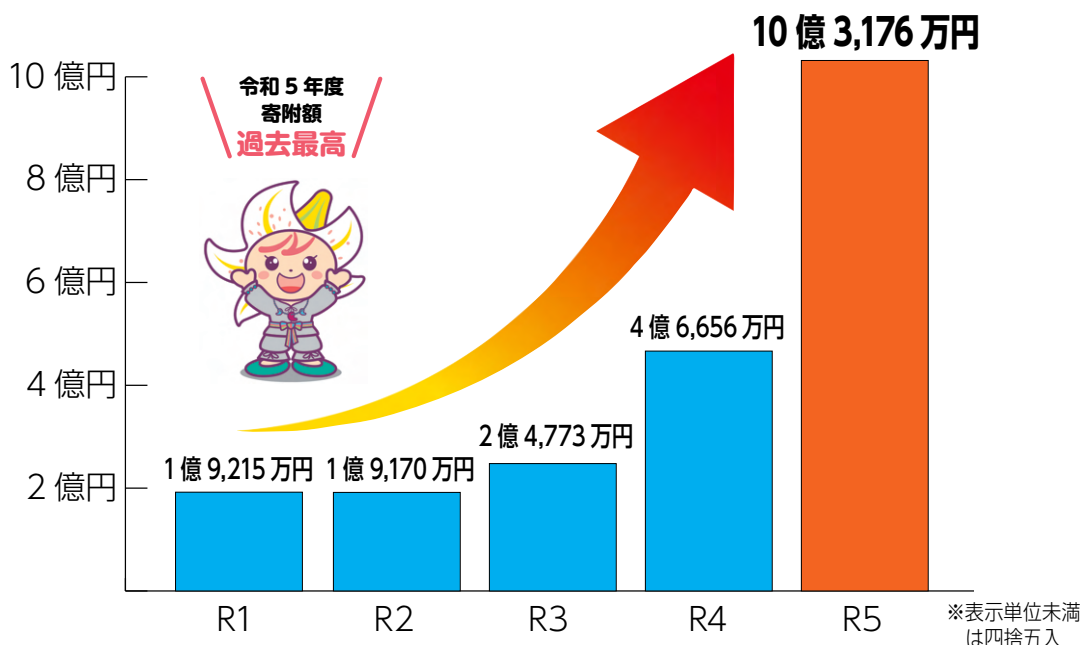


行方市は全国から応援されています！

行方市ふるさと応援寄附金

令和5年度のふるさと納税の寄附実績は、過去最高の10億3,175万9,584円となりました。
この額は、令和4年度の約2倍で、県内で第9位でした。今回は令和5年度の実績を報告します。

寄附実績（令和元年度～令和5年度）



全国の方々からの寄附

寄附者は、寄附金の使い道を10事業から選ぶことができます（※）。
使い道を指定している事業別では、少子化対策事業が最も多く、健康づくり推進事業が次に続きます。

また都道府県別では、東京都からの寄附が件数、金額共に一番多くありました。人口が多い都道府県からの寄附額が多く、昨年度よりほぼ全ての都道府県からの寄附額が増加していました。

※令和6年度は、5事業になります。

魅力的な地場産品

市外からの寄附に対しては、本市で生産、加工された特産品を返礼品としてお送りしています。

市民の皆さんが丹精込めて生産した農畜水産物や、心を込めて作った加工品などを出品していただいています。それらの魅力的な地場産品を全国の皆さんにお届けし、好評いただいていることも、寄附額が増えた要因の一つとなっています。

被災地への代理寄附

令和6年1月1日の能登半島地震により、石川県内の複数の自治体において、家屋やビルの倒壊等の壊滅的な被害が出ました。

このたびの被害を受けて、本市では、石川県の七尾市、輪島市および

珠洲市へふるさと納税の災害支援代理寄附を行いました。

こちらは返礼品はなく、寄附いただいたものを全て、被災地である3市に届けました。



ふるさと納税型クラウドファンディング

令和5年度は、鹿島アントラーズのホームタウンの5市が輪番で行っている、ふるさと納税型クラウドファンディングを行いました。



ふるさと納税型
クラウドファンディング
9,485万円

能登豪雨被害の代理寄附を 受付中

令和6年度は、9月の能登豪雨被害の代理寄附を行っています。多くの寄附をお願いします。

詳細はこちらから▼





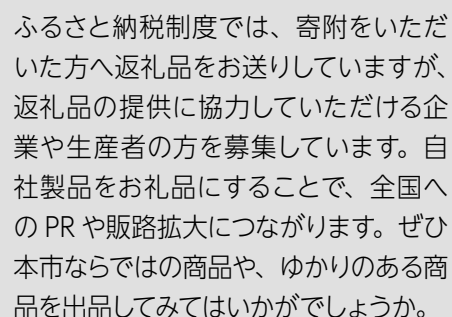
	事業名	金額	割合
①	少子化対策事業	3億3,761万2,000円	32.7%
②	6次産業推進事業	2,936万7,000円	2.8%
③	健康づくり推進事業	4,301万6,000円	4.2%
④	なめがたブランド力アップ事業	2,896万2,000円	2.8%
⑤	人材育成事業	3,133万2,000円	3.0%
⑥	情報発信事業	438万1,000円	0.4%
⑦	水辺周辺整備事業	3,705万9,000円	3.6%
⑧	定住移住促進事業	1,242万7,000円	1.2%
⑨	新型インフルエンザ等感染症対策支援事業	803万8,000円	0.8%
⑩	市長が必要と認める事業	3億7,378万1,000円	36.2%
⑪	災害支援代理寄付	3,093万3,500円	3.0%
⑫	クラウドファンディング	9,485万1,084円	9.2%



総務省によりルールが定められており、寄附額から返礼品や事務等の経費を差し引いたものが、市が事業に使える額になります。寄附いただいた額の全てを、市の事業で使えるわけではありません。



出品者、隨時募集中！



3 市報行方 令和6年11月号

ふるさと納税 × 子育て

1

子育て応援ニコニコ支援事業 (弐湖弐湖)

小・中学校、高校などの
入学時に2万円を給付

元気いっぱい育てほしい

小学2年生と小学1年生の姉妹なので、入学準備は2年連続でした。入学時には、ランドセルをはじめ、体操服や学習道具などそろえるものが多く、費用もだいぶかかります。そのため、子育て支援金はとてもありがたかったです。この支援金には、ふるさと納税が使われているということを知りました。これから子どもたちには、いろいろな経験をしながら元気いっぱい育てほしいと思います。

矢幡さん親子



野原さん親子



健康で大きく成長して

今年小学校に入学しました。入学時に必要なランドセルなどは、おじいちゃん、おばあちゃんが祝いを買ってくれましたが、それ以外にもいろいろな費用がかかるので助かりました。この支援金が、ふるさと納税からというのは知りませんでした。自然豊かな環境で、健康で大きく成長してほしいです。

寄附金活用事業紹介(令和5年度)



動物愛護活動



スクールバス運行



高齢者等ごみ出し支援



インフルエンザ予防接種



農産物販売促進



歯科保健

お選びいただいた使い道のご意向に沿って、さまざまな事業に活用しています。

皆さんの**思い**を大切に

ふるさと納税を活用したさまざまな事業に、感謝の声が寄せられています

2

給食センター運営事業

材料費の一部を補助



北浦学校給食センター
清水 友花 技師

🍴 なめがたの日の給食



地元産の野菜を
たくさん使っています。



未来を担う子どもたちのために

学校給食の材料費の一部にふるさと納税を活用しています。近年の物価高騰により、食材の値段はここ数年大きく値上がりしています。保護者からいただく給食費だけでは、成長期にある子どもたちに必要な質や量を賄うことはできません。給食の時間は「食育」の時間で、知育・徳育・体育の基礎となる重要な授業の一環です。市の未来を担う子どもたちのために、大切にに使わせていただきます。

3

母子保健事業（誕生祝金）

出産時に 10 万円を給付
※条件あり

子の成長と共に歩んでいきたい

初めての子育てで、出産後もいろいろと費用がかかる中、誕生祝金はとても助かりました。この誕生祝金は、ふるさと納税からと聞いて、さまざまな人に支えられていることを知りました。これから我が子の成長と共に歩みながら、健やかで元気な子に育てていきたいと思います。

小澤さん親子



水谷さん親子



子どもたちと元気でにぎやかな家庭に

昨年行方市に引っ越してきて、出産した際に誕生祝金をいただきました。子どもが日ごろ使うものをそろえると、いろいろな費用がかかるので、ただけてよかったです。子どもたちの成長を楽しみにしながら、元気でにぎやかな家庭にしていきたいと思います。